

平成 30 年 3 月 5 日

日本 IFToMM 会議  
会員各位

日本 IFToMM 会議  
実行委員長  
高西 淳夫

2018年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会のお知らせ

日頃は日本 IFToMM 会議の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。  
さて、2018年度のシンポジウムおよび総会を下記の予定で開催致します。万障お繰り合わせ  
のうえ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

○ 2018年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会

WEB: <http://www.jc-iftomm.org/japanese/index.html>

日時: 平成30年6月1日(金)

会場: 東京大学弥生キャンパス(農学部)フードサイエンス棟 中島董一郎記念ホール  
(<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/nakashima/index.html>)

予定行事: (講演件数により変動します)

- 1) シンポジウム: 9:00~17:00
- 2) 特別講演: 企画中
- 2) 総会: 17:10~17:40
- 3) 懇親会: 18:00~20:00

○シンポジウムの詳細 募集テーマ: 募集するテーマは例えば以下の通りです。本会の趣旨に合  
致すれば、これら以外でも差し支えありません。新しい領域は大歓迎です。

運動機構: リンク機構, カム機構, 歯車機構, 伝動機構, 減速機, 超精密位置決め  
機械要素: 軸受, アクチュエータ, 油空圧機器, 弾性ヒンジ, トライボロジー, 内燃機関  
ロボティクス: 移動ロボット, 非ホロノミックロボット, パラレルマニピュレータ,  
ヒューマノイド, マイクロロボット 医療・福祉機器: 手術ロボット,  
介助ロボット, 人工義手, リハビリ機器, 情緒交流, パワーアシスト機器  
振動の解析と制御: ロータダイナミクス, モード解析, 振動と騒音の低減, 非線形振動系  
計測と制御: センサ, 自律分散制御, 学習制御, 群ロボットの制御  
その他

Young Investigator Fund Best Paper Award:

2005年度より、シンポジウムのさらなる活性化を目指して、下記要領により、若手研究者・  
技術者の優秀講演論文を表彰します。奮ってご投稿ください。

受賞資格: シンポジウム講演論文における 35 歳以下(講演論文受付時)の筆頭著者の本会会  
員とします。(受賞後の入会も構いません)

論文審査：講演論文受理後，有識者からなる審査委員会の厳正な審査を経て，原則3件の Finalist を決定し，さらにその中からシンポジウム当日の講演発表の審査を経て，受賞者を決定します。

贈賞件数：Best Paper Award 1件を含む Finalist 3件。贈賞内容：賞状，賞牌および賞品 表彰式：本シンポジウムの終了後に開催される2016年度総会にて表彰式を開催します。

日程：講演申し込み締め切り 平成30年3月9日（金）  
採択通知 平成30年3月16日（金）  
原稿提出締め切り 平成30年3月30日（金）

講演申し込み時の情報：

以下の情報を下記へ電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

- (1) 著者（筆頭著者，連名者のフルネーム）名（和英併記）
- (2) 講演者名
- (3) 講演者の生年月日（Young Investigator Awards 資格に該当する講演者）
- (4) 講演題目（和英併記）
- (5) 著者連絡先（E-mail アドレス，電話，FAX）
- (6) 200字程度の概要

講演申し込み先：

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFTtoMM 専用)

講演原稿の送付方法：

昨年度より，PDF 原稿を電子メールの添付ファイルでご送付いただくこととしました。この際，機種依存のフォントは必ず埋め込んでください。送付先は講演申込みと同じで，下記電子メールアドレスに送付してください。

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFTtoMM 専用)

皆様ご多忙とは存じますが，FAX または電子メールで結構ですので講演発表の申し込みをお待ちいたしております。

※気早ではありますが，シンポジウム原稿執筆要綱を同封いたしますので，ご活用ください。